


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年 11月 12日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第8号	質問議員	12番	富田 陽子	
件名	自然の中で五感を育てる環境づくりを				
要 旨					
<p>現在子育て住宅、紙おむつの支給、子育て支援センター、パパママクラスなど当町の子育て支援は、安心して子どもを産み育てることができる充実した環境といえる。しかし一方で、公園が近くにない、幼児が使える遊具が少ない、幼保でもっと自然と触れる機会を増やしてほしい、自然はいっぱいあるけど活かしきれていないなどの保護者の声があり、子どもがのびのびいきいきと学び遊ぶ環境整備はまだ不十分である。町内の9割が森林だが、森の中で遊ぶ子どもの姿は見えない。</p> <p>自然の中で五感を使って感性を磨くと好奇心が高まり、脳が活性化され、土や虫、植物にたくさん触れると免疫力が高くなり健康体になるといわれている。自分で考える力もつくという。</p> <p>山北町の豊かな農地、森林等を活かした遊び場があることや特色ある保育、教育を行うことは、子どもたちにとっても町の未来にとっても有意義であり、移住を検討している子育て世代にとっても選択肢の一つとなると考える。これを踏まえて質問する。</p>					
<ol style="list-style-type: none"><li>1) 今ある公園に、町内を流れる豊富な水を利用したせせらぎの空間や木の遊具の設置、さらには木陰に子どもを見守る空間を取り入れる計画は。</li><li>2) 自然の中で体を使って、思いっきり遊ぶことができ、(例えば木登りや穴掘り、工作・水遊び・泥んこ遊びに焚き火もできるような空間。) 子どもが「やってみたい」と思うことを、なるべく何でも実現できるようめざした遊び場はプレーパークと呼ばれるが、みかん畑や山林など山北の土地を活用し、自然を感じるプレーパークをつくる取り組みは。</li><li>3) 近くの田んぼで泥んこ遊びをしたり園庭で木登りできるよう自然を活かした特色ある幼保の取り組みは。</li></ol>					